

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公)

討議年月日: 令和3 年 4 月 29 日

公表: 令和 3 年 4 月 30 日

事業所名 ゆいまーる

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3			
	2	職員の配置数は適切である	3			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		3	フラット化するようにマットを敷いている。	マットのへたりやすれがある為新しいものに交換していく。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3		活動後にミーティングを行っている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3			アンケートをもとに業務改善に引き続き行っていく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		3		第三者委員会等、今後検討していく。
8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3		内部、外部研修等を行っている。		
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	3		保護者との面談等を行い子供に合わせた計画を作成している。	コロナウィルスの為、今年は、聞き取りのみで対応
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3		独自のアセスメントシートを使用している	より細かな情報を得て、療育に繋がるシートを作成する。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	3		個々の得意分野を生かして、チームで立案している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3		日々の活動は個々に合わせ、常に変更して行っている。	子供の能力に合わせた、活動のレパートリーを増やしていく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3		日に応じて、ここに合わせた活動を行っている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	3		集団活動、個別活動を毎日、取り入れている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3		活動前に、ミーティングを行い、意思統一を図っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3		ミーティングを行い、活動報告にまとめ、職員全員に周知している。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3		活動報告書にまとめ、細かい対策案を立て改善を行っている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	3		半年毎に聞き取りを行い、必要があれば見直しを行っている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	3		ガイドラインに沿って支援を行っている。	

関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3		児童にかかわり、最も相応しい職員が参加している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	3		基本的に保護者からの情報が一番になっている。	今後学校との連携も必要となってくる場合、連絡調整を行う。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3			現在医療的ケアが必要な児童がいないが、かかりつけ医などの情報をもとに対応できるようにする。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3		必要に応じて家族に確認し、情報共有をしている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		3		現在卒業生がいないが、必要に応じ情報共有を行います。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3		定期的に研修を受けています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3		外出時などにイベント等に参加している。	機会が少ないため、定期的に行えるように検討していく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		3		必要に応じ参加していく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3		連絡帳や送迎時での申し送り、共通理解を行っている。	
保護者への 説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		3		必要に応じて検討していきます。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3		契約時に説明等を行い、随時、質問相談に応じている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3		随時対応して、必要に応じて専門機関等への促しを行っている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		3		要望、希望があれば検討していきます
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	3		苦情窓口を開き、随時対応しています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3		活動写真や通信日報を発行しています。	
	35	個人情報に十分注意している	3		個人情報同意書を頂き、注意しています。	家族との話し合いの中で、他の子ども様の名前が家族から出ることもあるが、十分に注意して対応していく必要がある。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3		状況に応じ、最適な情報伝達を行っている。電話、メール、カードなど。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		3		現在イベント等は行っていません。状況に応じて検討していく。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		3		口頭で説明しているが、通信等で分かりやすいように明確に説明していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3		時期により避難活動を行っています。	家族にも分かりやすいように、通信等で伝えていきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3		定期的に研修を受けています。	職員全体に周知できるように、定期的に内部研修を行っていく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3		契約時に身体拘束について丁寧にわかりやすく説明を行っている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3		聞き取りにより、情報を得て対応している。	アレルギー一覧表を職員全体に周知していく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		3		ヒヤリハットの説明は行っているが、事例集は作成していない為、作成し研修等を行っていきます。